

# 長期間で使用いただいているお客様へ

当社 I 形浄水器を長年ご愛用いただき誠にありがとうございます。  
 I 形浄水器（先止め式配管）でご使用の場合、浄水器本体（キャップ、ボデー等）に常に水圧がかかります。このため、長期間で使用いただいた場合、浄水器本体の変形により耐圧性能が徐々に低下していきます。お住まいの地域の水質、水圧等により耐圧性能低下の度合いやそれまでの期間は異なりますが、本体やホースの交換が必要になる場合がございます。心配な点がございましたら、一度当社お問い合わせ窓口までお問い合わせください。



# グローエブルー I 形浄水カートリッジ

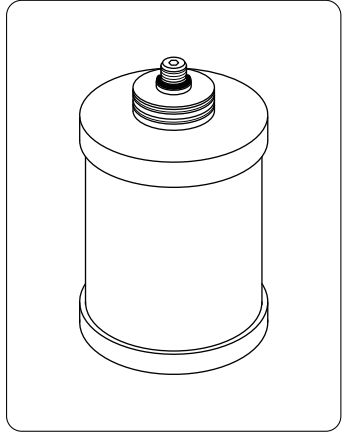
## 取扱説明書

### 製品仕様

品名	グローエブルー I 形浄水カートリッジ	
材料の種類	ABS樹脂	
ろ材の種類	活性炭・不織布・中空糸膜	
ろ過流量	5.0L/分	
使用可能な最小動水圧	0.07MPa	
浄水能力	遊離残留塩素	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	濁り	(総ろ過水量 7,500L ろ過流量50% JIS S 3201での試験結果)
	総トリハロメタン	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	クロロホルム	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	プロモジクロロメタン	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	ジプロモクロロメタン	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	プロモホルム	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	テトラクロロエチレン	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	トリクロロエチレン	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	1,1,1-トリクロロエタン	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	CAT (農薬)	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	2-MIB (カビ臭)	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	溶解性鉛	(総ろ過水量 7,500L 除去率80% JIS S 3201での試験結果)
ろ材の交換時期の目安	1 ヶ年 (1日あたりの使用水量20L)	
除去性能	鉄(微粒子状)、アルミニウム(中性) 浄水器協会が定められた規格基準 (JWPAS) に従った試験方法により除去が確認された物質	

※ 本仕様は、改良等のために予告なく変更することがあります。

この度は「グローエブルー I 形浄水カートリッジ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 この取扱説明書をご使用前に必ず最後までお読みください。  
 また、お読みいただいた後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。



《製品の特長》  
 「グローエブルー I 形浄水カートリッジ」はグローエブルー C & S で「おいしい水」を楽しんでいただくための専用カートリッジです。

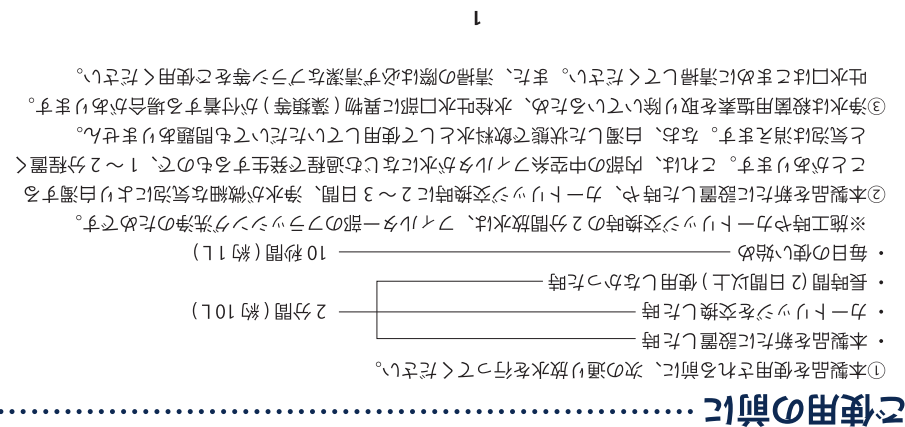
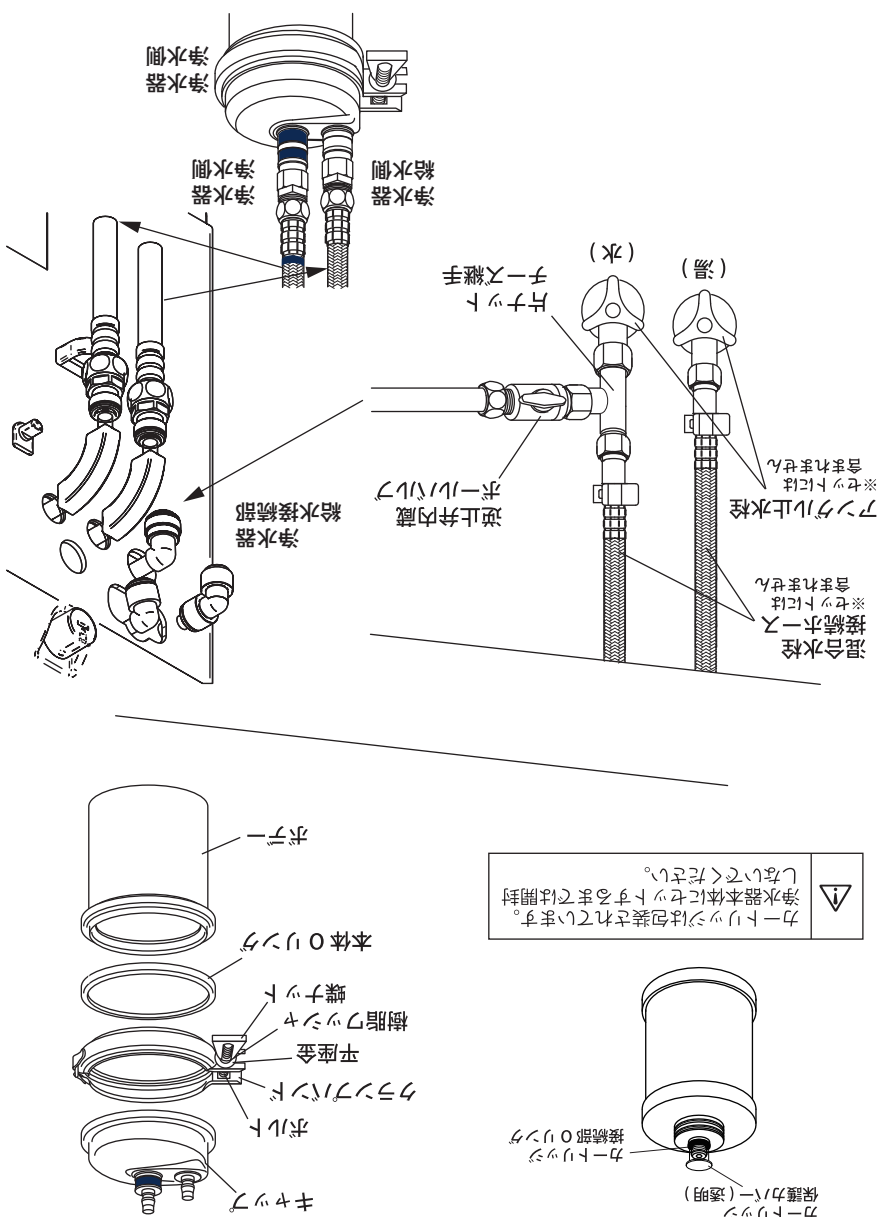
### 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、本製品の仕様・取扱いを明確にし、使用に際しての人的危害や物的損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**⚠ 注意**：この表示を無視し誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。

### 取扱店

お問い合わせ先  
**グローエジャパン株式会社**  
**TEL 03-5775-7500**  
 (9:30 ~ 17:30 土・日・祝日・夏季・年末年始除く)



### ご使用前に

● 水道法に適合した水道水の浄化以外の用途には使用しないでください。  
 ● 井戸水には使用しないでください。また、硬水を軟水に変えることはできません。  
 ● 本製品は家庭用浄水器です。一般の家庭での用途以外では使用しないでください。  
 ● カートリッジ交換時期の目安は使用水量、水質、水圧などにより異なります。  
 ● 浄水器に30℃以上の温水を通水しないでください。  
 ● 浄水は汲み置きしないでください。水道水中の殺菌用塩素が除去されているため、細菌が繁殖しやすくなります。  
 ● 寒冷地においては本製品内の水が凍結しない場所に設置してください。凍結しますとカートリッジや濾水本体、水漏れを起こすおそれがあります。  
 ● 浄水は養魚用には使用できません。水質条件、カートリッジの劣化などにより殺菌用塩素が十分に除去されていない水が流出する場合があります。  
 ● 熱源、薬品、洗剤等の近くに設置しないでください。熱による変形、薬品や洗剤等による劣化で水を漏れを起こすおそれがあります。  
 ● 本製品の常用使用圧力は0.1 ~ 0.6MPaです。圧力が0.6MPaを超える場合は、原水側に減圧弁を設置してください。この圧力を超えて使用し続けると、カートリッジや製品本体等の破損により水漏れを起こすおそれがあります。  
 ● 1台の浄水器本体から複数の水栓に接続するような配管方法や、ご家庭内への供給水を全てろ過するような配管方法(セントラルろ過方式)では使用しないでください。水量が大幅に少なくなると、カートリッジの寿命が大幅に短くなります。  
 ● 給水ホースを折ったり潰したりしないでください。過度な水圧がかかり、水漏れするおそれがあります。  
 ● カートリッジは消耗品です。1年を経過した時、または十分な流量が得られなくなった時は、すみやかに交換してください。ろ過能力の限界を超えたカートリッジをそのまま使用しますと、飲用に適さない水が流出することがあります。  
 ● 設置時やカートリッジ交換時、また毎日1回の放水を行わないと、雑菌や異臭発生など、飲料水に適さない水が流出するおそれがあります。  
 ● カートリッジを交換した当日は、就寝前に本製品周辺から漏水がないか再確認してください。これは一般的に夜間は昼間より水圧が高くなり、接続部の不十分な締め付けや緩み等による漏水の危険が高まるためです。  
 ● 使用済みのカートリッジ、本体Oリングは、プラスチックは、プラスチックのみとして各自自治体の指示に従い廃棄してください。  
 ● 本製品を使用する際は、必ず当社製浄水器本体をご使用ください。当社製品以外との組み合わせで使用された場合には発生した人的危害、物的損害を含む不具合に関しては責任を負いかねます。

### 各部の名称

# カートリッジの交換方法

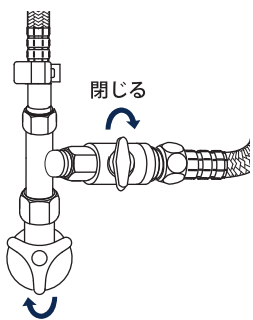
本製品のカートリッジ交換は次の手順で行ってください。  
(配管等の状況により交換に工具が必要な場合があります。)

1. 給水管からの分岐部に設置した逆止弁内蔵ボールバルブを閉めます。  
※逆止弁内蔵ボールバルブがない場合、止水栓を止めてください。

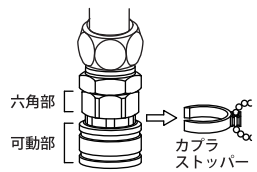
2. 浄水専用水栓を全開にします。この時吐水口からの水が止まっていることを確認してください。

## 注意

- カブラを外す前に浄水専用水栓を全開にしてください。全開にしないと、カブラを外した際に配管内や浄水器本体内の圧力により勢いよく水が流出し、家財などを濡らすおそれがあります。

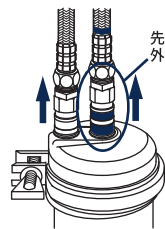


3. カブラにセットされている、カブラストッパーを取り外してください。



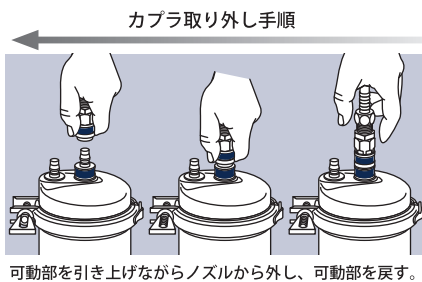
4. 浄水器本体下の受け皿に水が溜まっている場合は、水を捨ててください。水を捨てた後は受け皿を浄水器本体下に戻してください。

5. 浄水器本体上部のカブラを2つとも取り外します。取り外す際は、浄水器本体が動かないようにしっかりと押さえ、カブラおよびノズルの根元に青色のシールが貼られている方(浄水出口側)から外してください。



## 注意

- カブラを外す際、青色のシールが貼られているカブラから外しませんと、ブレードフレキチューブ内や浄水器本体から水が流出し、家財などを濡らすおそれがあります。
- カブラを外した際、少量の水が浄水器本体やブレードフレキチューブ内から流出しますので、必ず浄水器本体下に受け皿を設置して作業してください。
- カブラを外す際に勢い余って手をぶつけたり、可動部に指を挟んで、怪我等をしないようご注意ください。



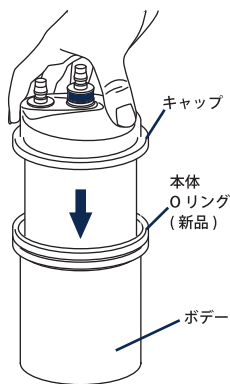
3

12. 新品カートリッジに同梱している、新品の本体Oリングをボデー上部にしっかりとめ込みます。

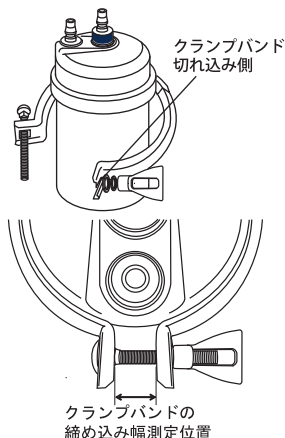
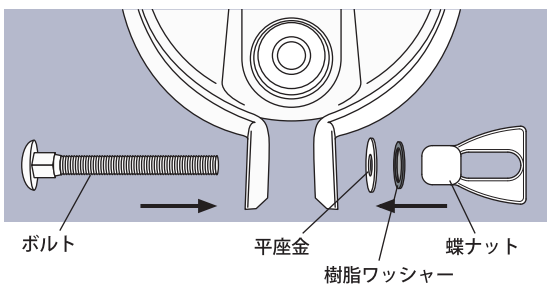
13. 新品カートリッジを取り付けたキャップをボデーの中へ差し込みます。この時、キャップを上から軽く押し、キャップとボデーが正確にはまっていることを確認してください。

## 注意

- カートリッジを取り付けたキャップを持ち上げる際には、横にしないよう注意してください。カートリッジねじ部に無理な力がかかり、ねじ部が破損するおそれがあります。
- キャップをボデーに取り付ける際は、ボデー上部に必ず新品の本体Oリングをはめてください。本体Oリングをはめずにはめると、漏水の原因となります。

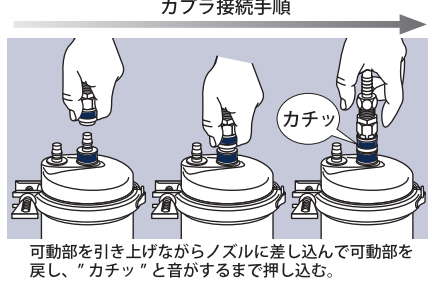
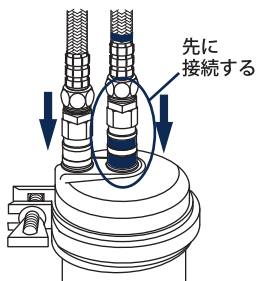


14. キャップとボデーを正しくセットし、クランプバンドで正確に結合します。クランプバンドの切れ込みが入った側に平座金、樹脂ワッシャー、蝶ナットをセットしてください。セットの方向を間違えるとキャップとボデーが正しく結合できず、水漏れの原因となる場合があります。この時、左のスケールを目安に、クランプバンドの締め込み幅が11~15mmとなるように締め込んでください。手で締めて15mm以下にならない場合、本体Oリングが正しくセットされていない可能性があります。本体Oリングが正しくセットされていないと水漏れを起こすおそれがあります。



15. 浄水器本体と受け皿を、シンク下に運びます。シンク下に配置する際は必ず、受け皿と浄水器本体が安定する場所に置いてください。設置場所が不安定ですと、浄水器本体が傾き、各部品に無理な力がかかることによって故障や漏水の原因となります。

16. カブラを取り付けます。浄水専用水栓に接続しているブレードフレキチューブ端部のカブラ(青色シールが貼られている側)と浄水器本体キャップの青色シールが貼られている側のノズルを先に接続してください。次に、給水管から分岐したブレードフレキチューブ端部のカブラを、もう一方のノズルに接続してください。



5

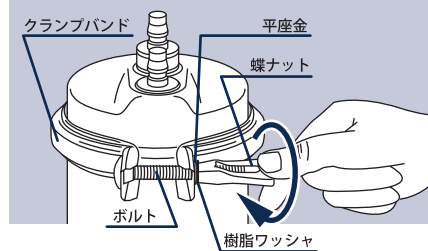
6. 浄水器本体と受け皿を一緒にゆっくりと持ち上げ、キッチンやシンク内など、水がこぼれても良い、平らな場所に移動させます。移動後は受け皿を外してください。

## 注意

- 浄水器本体は、必ず平らな場所に移動させた上で作業を行ってください。不安定な場所で作業をしますと、浄水器本体が倒れ、怪我等をするおそれがあります。

7. 蝶ナットを外し、浄水器本体のキャップとボデーを結合するクランプバンドを外します。

- ※クランプバンドが外れにくい場合  
蝶ナットを取ってもクランプバンドが浄水器本体から外れにくい場合、バンドに適度な衝撃を与えることで簡単に外すことができます。



## 注意

- クランプバンドを外した際、平座金等の小さな部品をなくさないようご注意ください。また、小さいお子様が誤って部品を口にしないよう、十分にご確認ください。
- クランプバンドを外れにくいときに衝撃を与える場合は、衝撃を与えた反動で手をぶつけるなどして怪我等をしないようご注意ください。またこの際、浄水器本体が傷つくことがありますので、タオル等で衝撃を与える部分を覆ってから作業してください。

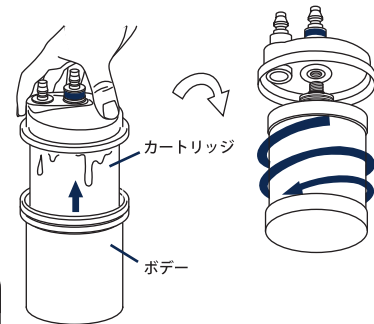
8. カートリッジが接続されたキャップ部を引き出し、使用済みカートリッジを反時計回りに回してキャップから取り外します。

- ※取り外したカートリッジはプラスチックごみとして自治体の指示に従い廃棄してください。

9. ボデー上部の本体Oリングを取り外します。

- ※取り外した本体Oリングはプラスチックごみとして自治体の指示に従い廃棄してください。

10. 浄水器本体、受け皿を洗浄します。洗浄後は水滴をきれいに拭き取ってください。

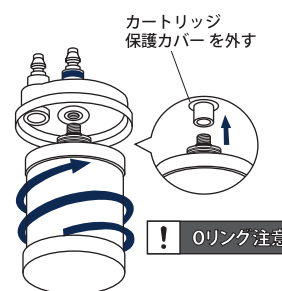


## 注意

- 浄水器本体等の洗浄には以下のものは使用しないでください。破損や漏水の原因となります。
  - ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
  - ・シンナー、ベンジン等の溶剤
  - ・クレンザー、磨き粉等、粒子を含んだ洗剤
  - ・ナイロンたわし、たわし、ブラシ等

11. 新品カートリッジの透明の保護カバーを外し、キャップ内部中央のねじ部に時計回りにねじ込みます。この時、カートリッジ接続部Oリングがキャップ内面に当たって90°程度締め付けてください。

- ※強く締めすぎるとカートリッジねじ部が破損するおそれがあります。

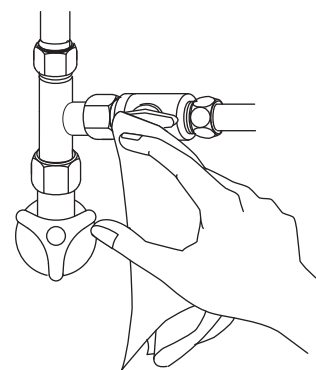


4

## 注意

- カブラを取り付ける際には、給水側と浄水側を逆に接続しないよう確認してから取り付けてください。逆に取り付けると、カートリッジの寿命が大幅に短くなったり、異物が流出するおそれがあります。
- カブラを取り付ける際には、可動部に手を挟むなどして怪我等をしないようご注意ください。
- カブラを取り付けた後は必ず外れないか確認を行ってください。その際、必ずカブラ部分を持ってください(可動部は持たないようにしてください)。ブレードフレキチューブやその他の部分を持って引っ張ると、接続部の緩みや部品の破損により漏水するおそれがあります。

17. 浄水器本体に通水し、水漏れ検査を行います。  
手順1. で閉めた逆止弁内蔵ボールバルブをゆっくりと全開にして浄水器本体に通水してください。浄水専用水栓からの吐水を確認したら、手順2. で全開にした浄水専用水栓を完全に閉めます。浄水器本体のクランプバンド部やその他の接続部から漏水がないか、下図の青色矢印部分を確認してください(点検にはティッシュペーパーを使用するとわずかな漏れも確認できます)。



## 注意

- 浄水器設置の際は必ず、ブレードフレキチューブのねじれや折れがないか確認してください。ブレードフレキチューブがねじれたり折れたりすると、漏水や故障、流量低下の原因となります。

18. カートリッジ部のフラッシング洗浄のため、水栓を開けて、2分間(約10L)放水します。浄水器設置後2~3日間は、浄水中に微細な気泡が発生して白濁することがあります。1~2分静置すると気泡は消えて透明になります。なお、このように白濁した状態でも飲料用に利用いたしても問題ありません。

19. 「施工手順3」で取り外したカブラストッパーを再度取り付けてください。このストッパーは、カブラが物に当たった時などに可動部が動いて脱落し、漏水などが発生することを防止するためのものです。浄水器のご使用中は必ず設置してください。

20. 新品カートリッジに同梱している、「交換日付ラベル」に、使用開始日を記入し、浄水専用水栓付近または、いつも目につくところに貼ってください。次回のカートリッジ交換時期の目安となります。

## その他

### ■お手入れ

- 浄水器本体、グローエブルー水栓のお手入れには専用のクリーニング剤を使用してください。
- 長期にわたり使用されると、グローエブルー水栓の吐水部に汚れ(水アカ等)が付着する場合があります。定期的にクリーニングを行ってください。

### ■日常のご使用にあたって

- シンク下での物の出し入れの際には、本製品に物が当たらないようご注意ください。また、ブレードフレキチューブが物に挟まれたり潰されたりしないようご注意ください。

6